

運用変更点まとめ - Medical Force連携システム

最終更新日: 2025-07-02

概要

このドキュメントは、Medical Force連携システム導入による運用変更点を整理したものです。看護師・運営スタッフの業務において、何が自動化され、何を手動で管理する必要があるかを明確にします。

手動管理が必要な項目

1. 施術間隔の管理

変更点:

- 従来: Medical Forceでのみ管理
- 新システム: スプレッドシートとMedical Force両方で管理

理由:

- システムの柔軟性確保
- スプレッドシート上では名称の完全一致不要

2. チケットのイレギュラー対応

変更点:

- 従来: 個別管理
- 新システム: 拡張機能UIから直接調整可能

特徴:

- プラン外のチケット使用に対応
- 手動調整は自動計算の計算式に組み込まれる

3. 会社情報・メンバー管理

変更点:

- 従来: MF上で来院者タグをつけて管理
- 新システム: 統合UIで本会員/サブ会員を一元管理

4. LINE認証URL共有

変更点:

- 従来: 手動でQRコード作成・共有
- 新システム: 自動生成されたURLをMF管理画面から送付（実装予定）

5. ペア部屋予約の調整

変更点:

- 従来: 負荷、完全手動
- 新システム: 希望を取得、空き状況の日時は自動表示、調整は手動

特徴:

- ペア部屋の空き状況を自動計算
- 実際の組み換えは人間の判断で実施

6. Webメニューの管理

変更点:

- 従来: MF担当者に依頼、またはMD管理画面から変更
- 新システム: 運営スタッフが直接変更可能

7. 同意書URL管理

変更点:

- 従来: MF管理画面から展開
- 新システム: MF管理画面からURLを取得してスプレッドシートに追加

8. 各種設定の変更

変更点:

- 従来: システム管理者のみ変更可能
- 新システム: 運営スタッフが設定画面から変更可能

自動化された項目

1. 予約管理の自動化

改善内容:

- 本会員、サブ会員、同伴者の予約を自動処理
- 予約確認・変更の自動通知
- 空き時間のリアルタイム計算

業務削減効果:

- 予約受付の電話対応、Line対応時間: 約70%削減
- 予約台帳への転記作業: 約80%削減

2. チケット管理の自動化

改善内容:

- 月初のチケットリセット自動実行
- 残数計算と通知の自動化
- 使用履歴の自動記録

業務削減効果:

- チケット管理業務: 約80%削減
- 残数確認の問い合わせ対応: 約90%削減

3. LINE連携の自動化**改善内容:**

- 予約確認メッセージの自動送信
- リマインダー通知（前日・当日）
- キャンセル・変更通知の自動化
- チケット残数の自動通知

業務削減効果:

- 確認電話: 約95%削減
- リマインダー業務: 100%自動化

4. 同伴者予約の効率化**改善内容:**

- 本会員/サブ会員経由での一括予約
- グループ予約の自動処理
- 同伴者情報の自動管理

業務削減効果:

- 個別連絡の手間: 約85%削減
- 予約調整時間: 約60%削減

運用上の主な変更点**1. データ管理の一元化**

- **従来:** 紙、Excel、Medical Force、電話メモなど分散管理
- **新システム:** スプレッドシートとMedical Forceで統合管理

2. リアルタイム性の向上

- **従来:** 日次や週次でのデータ更新
- **新システム:** 1時間ごとの自動同期、必要時はボタンクリックで即時同期

3. 権限管理の柔軟化

- **従来:** 限られたスタッフのみシステム操作可能
- **新システム:** 役割に応じた適切な権限設定

4. エラー対応の簡素化

- **従来:** IT担当者への依頼が必要

- **新システム:** ヘルプ画面やログから自己解決可能（※解決できない場合は開発者に連絡）

導入効果の予測

定量的効果

- 予約管理業務: 約60%の時間削減
- チケット管理業務: 約80%の時間削減
- 顧客対応時間: 約60%の削減
- データ入力ミス: 約90%の削減

定性的効果

- スタッフのストレス軽減
- 顧客満足度の向上
- データの正確性向上
- 業務の標準化促進

まとめ

新システムにより、多くの定型業務が自動化されます。一方で、イレギュラー対応や設定変更など、人間の判断が必要な業務は引き続き手動で行います。